

組合HPの充実を図る イメージアップ動画も 広島県鉄構工業会

ホームページ
アクセス用QR
コード



広島県鉄構工業会（理事長 山本泰徳・ステントス社長）は、このほど、組合ホームページを更新し、内容を大幅に充実させた。レイアウトデザインを一新し、コンテンツを拡充したほか、組合や建築鉄骨業のPR動画を公開した。特にPR動画「3Kゾンビムービー」について山本理事長は「業界イメージを覆すような動画をつくった」と力説する。動画の舞台は近未来社会。

人工能により機械の自動化が進む中、鉄骨加工現場は3K「キツイ・汚い・危険」を強いられている男性たちに支えられており、長時間の過酷な労働により健康障害を発症する労働者が続出していった。そのような状況を打破するために2人の女性社員が立ち上がり、新しい3K「綺麗・高収入・休暇あり」環境を目指すという衝撃的な展開となっている。

山本理事長はこの動画の趣旨を「下請けから脱却し、鉄骨加工メーカーとしてプライドを持ちたいという願いを込めた。映像により若い人たちに強い印象を残し、私たちの仕事に興味を持つきっかけになればと思う」とする。動画のテーマを女性社員としたことについて

「現在のファブ業界の仕事は世間が思うより自動化が進み、肉体的な重労働ではなく、図面作成をはじめ女性の活躍する要素は多い。今後は企業側が女性の働きやすい環境を整備することが重要だ」と語る。

動画は組員企業（福山市新市町大字相方、有地康史社長）で撮影された。出演者は全て同社の社員で、自身もゾンビ化した社員役を演じた有地社長は「最初は抵抗感があるかと思ったが、社員皆が楽しんで撮影に参加してくれた。私にとっても貴重な体験となり、本当に楽しかった」と感想を述べる。

このほか、動画のメイキング映像や業務紹介動画「私たちは鉄骨の大工さん」もアップされており、実際の鉄骨建築物やその加工工程、業務内容のほか、組員企業の社員インタビューが紹介されている。

動画はYouTubeに開設した組合チャンネルで視聴できる。今後は各種会合も撮影し、順次公開していく予定だ。

●…公共工事の見積もり依頼案内ページを設置 更新したHPでは公共工事の設計見積もり依頼に関する案内ページも開設。業務依頼から見積書の作成や納品までのフローチャートのほか、料金表を明記している。見積依頼書は同ホームページからダウンロードできる。



組合PRポスター